

橿田川水系及び宮川水系渇水対策支部を解散

～橿田川・宮川水系の節水を解除～

1. 概要

橿田川水系では、5月以降の少雨状況により蓮ダムの貯水量が低下し、農業用水への補給ができなくなるおそれがあり、また、蓮ダム貯水量温存のため放流量を減少させたことに伴い河川流況が悪化したことから、三重河川国道事務所及び蓮ダム管理所では、利水者等の関係機関の渇水調整を円滑に行うため、6月16日に橿田川水系渇水対策支部を設置し、渇水調整協議会による渇水調整を行うとともに、河川の監視を強化してきました。

また、宮川水系では、5月の降雨量が平年比3割～4割程度という状況から、宮川ダムの農業用水のための貯留水が枯渇し、農業用水への補給ができなくなるおそれが生じました。このため、三重河川国道事務所では渇水調整を円滑に行うため、6月16日に宮川水系渇水対策支部を設置し、渇水調整協議会による渇水調整を行ってまいりました。

橿田川水系及び宮川水系ともに、台風5号の降雨によりダムの貯水量や河川の流況が改善され、渇水調整協議会により節水が解除されたことから、8月9日12時をもって橿田川水系及び宮川水系渇水対策支部を解散しました。

2. 解禁 指定なし

3. 配布先 三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ

4. 問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局 三重河川国道事務所
副所長 瀬古 真一(せこ しんいち)
河川占用調整課長 鈴木 良(すずき りょう)
〒514-8502 津市広明町297
電話:059-229-2218 FAX:059-229-2231

＜蓮ダムに関することについては以下＞
国土交通省中部地方整備局蓮ダム管理所
所長 新高 庸介(にいたか ようすけ)
専門官 松島 宏(まつしま ひろし)
〒515-1615 松阪市飯高町森1810-11
電話:0598-45-0371 FAX:0598-45-0343

河川に関する情報はインターネット、携帯端末サイトでもリアルタイムで確認できますのでご利用ください。

＜国土交通省 川の防災情報＞

インターネットURL <http://www.river.go.jp/>

携帯端末サイトURL <http://i.river.go.jp/>

スマートフォンサイトURL <http://www.river.go.jp/s/xmn0105010/>

(携帯端末サイト)

(スマートフォンサイト)

(QRコード)



櫛田川の渇水概要(8月9日時点)

渇水状況

- 5月から7月の降雨は、それぞれ平年の約40%~65%と少雨傾向。
- 5月28日から渇水の目安となる流量を、断続的に下回る状況。
- 河川流量の減少により、ダムからの補給量が増大し貯水量が減少。
- 8月に入ってから、降雨によりダムの貯水量が回復し、また河川の流況が改善。

貯水池の状況

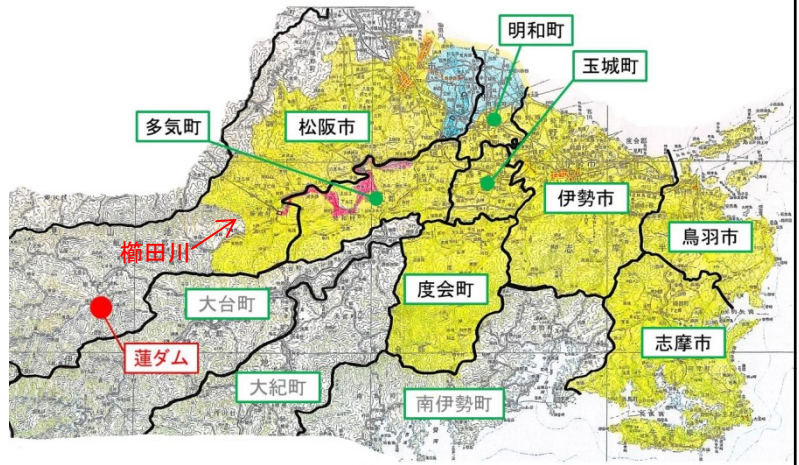


蓮ダム 7月31日時点(渇水時)
貯水率(利水)約64% 平年比約74%



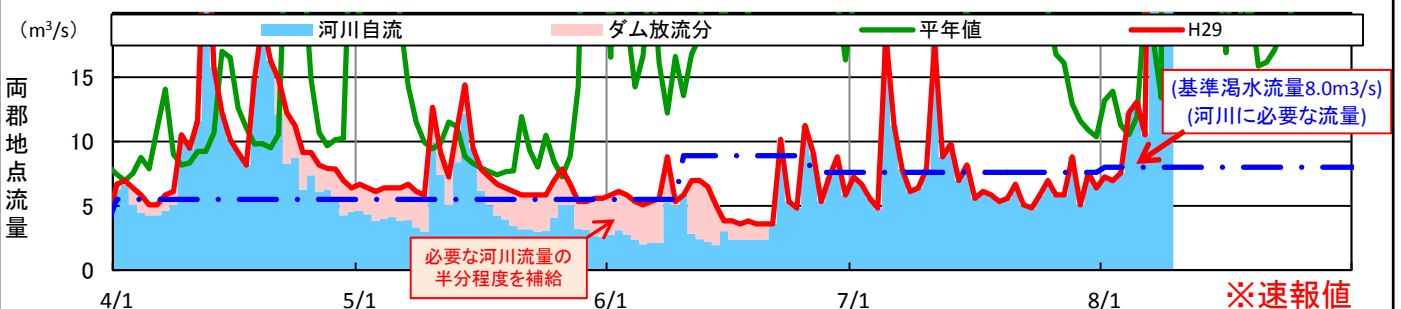
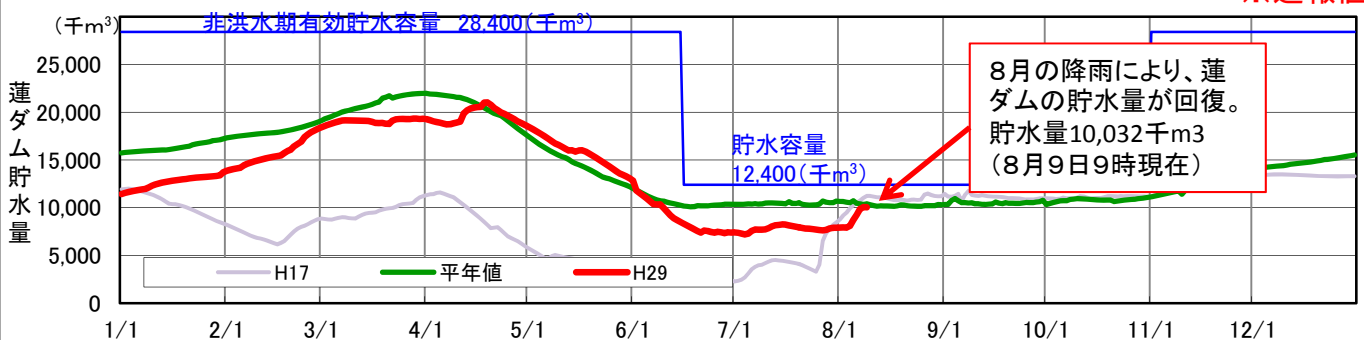
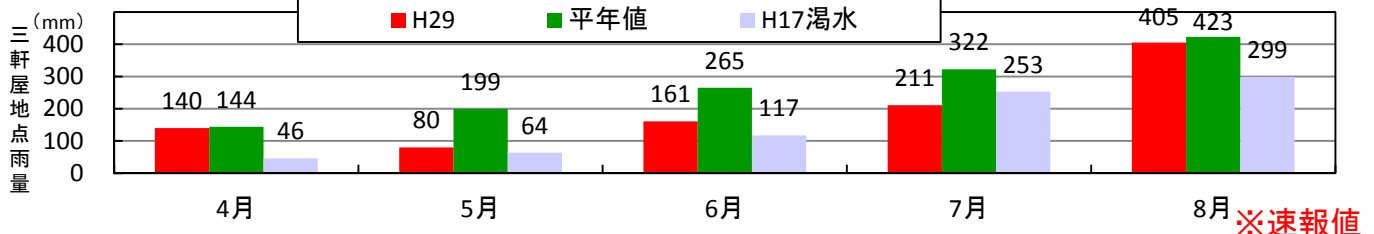
蓮ダム 8月8日時点(平常時)
貯水率(利水)約81% 平年比約97%

蓮ダムの供給先



凡例	
松阪工業用水給水範囲	黄色
立梅用水受益範囲	緑色
櫛田川沿岸用水受益範囲	青色
南勢志摩水道用水給水範囲 (上記範囲含む)	赤色

降雨・貯水状況等



櫛田川の渇水対応状況(8月9日時点)

これまでの対応状況

- ・ 6月16日に三重河川国道事務所渇水対策支部を設置。
- ・ 6月16日以降、河川巡視を強化するとともに、渇水対策支部設置とあわせ河川環境への影響調査を実施。
- ・ 6月21日に櫛田川渇水調整協議会を開催し、蓮ダムの放流量を30%減量する措置を決定。利水者においても、自主節水等の渇水対応に取り組んでいる。
- ・ 8月9日の第2回櫛田川渇水調整協議会で、蓮ダムの放流量を減量する措置の解除を決定。
- ・ 8月9日に三重河川国道事務所渇水対策支部を解散。

河川巡視実施状況(H29.6.27)



水質調査実施状況(H29.6.19)



農業用水路の末端まで水が行き届いていない状況(H29.6.28)



農家の対応状況(ほ場へのポンプによる汲み上げ)(H29.6.28)



宮川の湧水概要(8月9日時点)

湧水状況

- ・ 5月から7月の降雨は、それぞれ平年の約35%~60%と少雨傾向。
- ・ かんがい用水の不足により、4月28日より、宮川ダムから7,500千m³を上限とする不特定かんがい用水の補給を開始。
- ・ 宮川ダムの不特定かんがい用水7,500千m³を使い切った場合、宮川ダムの発電用貯留水のうち、8月15日まで新たに5,100千m³を上限として融通。
- ・ 8月に入ってからの降雨により、河川の流況が改善。宮川ダムからの補給がなくてもかんがい用水を確保できる見通しとなった。

かんがい用水地区内 ため池の状況(湧水時)

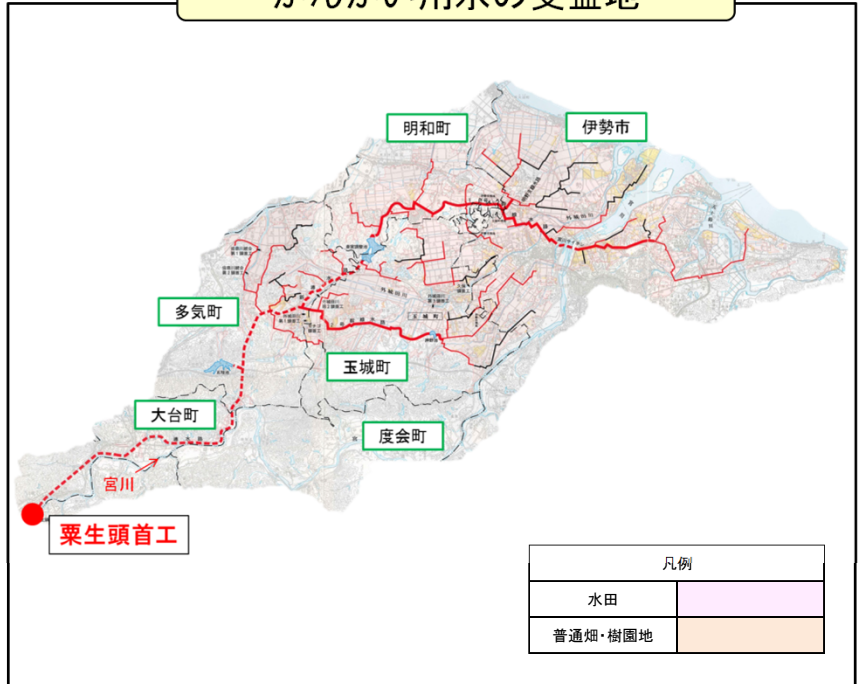


汁谷池 7月25日 貯水率:約25%

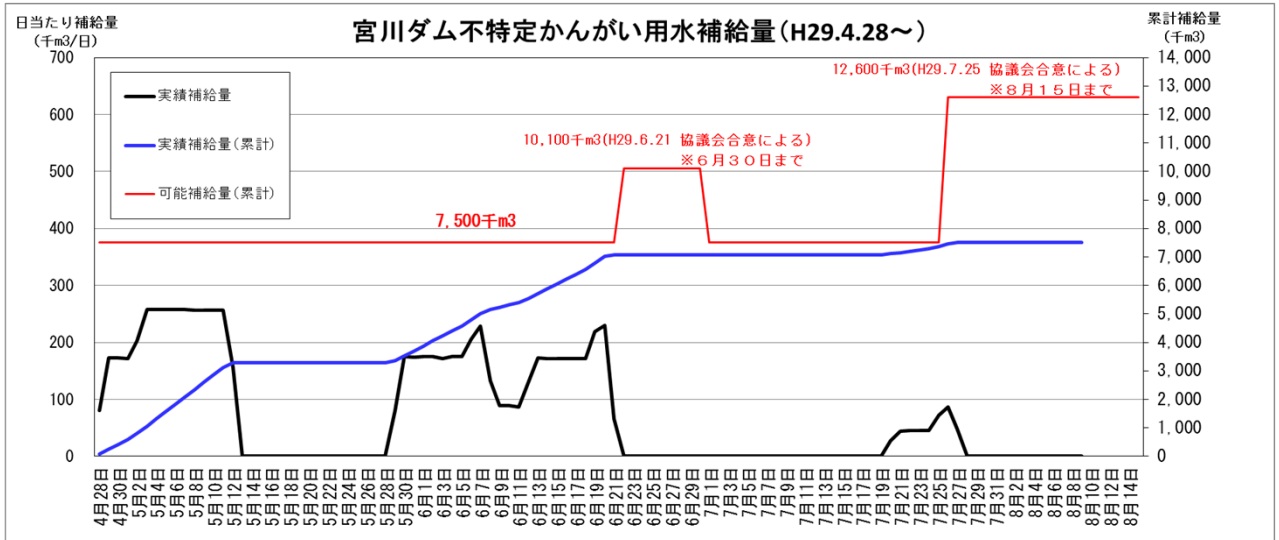
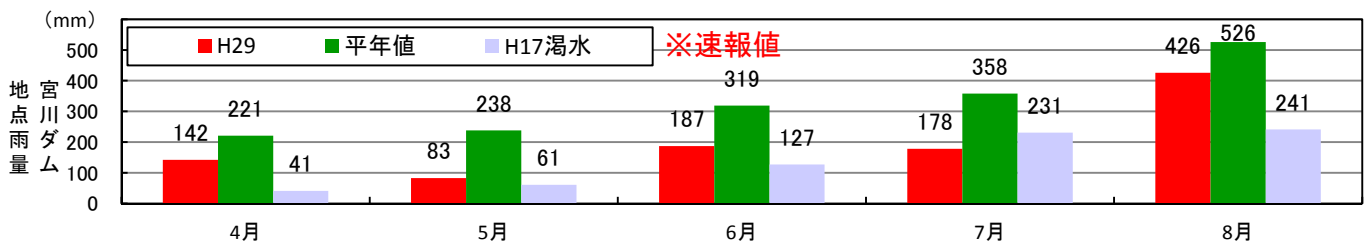


桧皮池 7月25日 貯水率:約30%

かんがい用水の受益地



降雨状況等

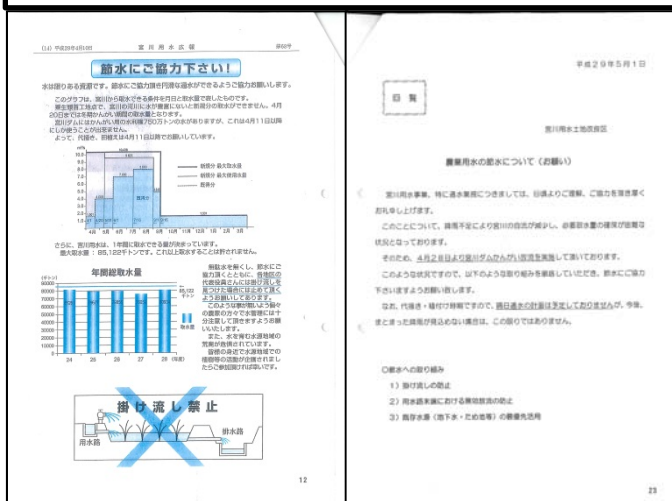


宮川の渇水対応状況(8月9日時点)

これまでの対応状況

- 3月より、宮川用土地改良区が各路線地区委員会の場において本年の少雨状況を説明し、節水対策を指示。
- 6月16日に三重河川国道事務所渇水対策支部を設置。
- 6月21日に宮川渇水調整協議会を開催し、取水制限(上水:自主、農水:35%)及び、6月30日まで2,600千m³の範囲で宮川ダムの発電貯留量の一部をかんがい用水として融通を行う措置を決定。
- 7月25日の第2回宮川渇水調整協議会で、水利使用の調整。取水制限(上水:自主、農水:25%)等の措置を決定。
- 8月9日の第3回宮川渇水調整協議会で、節水解除及び水融通の終了を決定。
- 8月9日に三重河川国道事務所渇水対策支部を解散。

宮川用水による節水呼びかけの広報



宮川用土地改良区による受益者への説明の様子



河川巡視実施状況(H29.6.19)



平成29年度 第1回宮川渇水調整協議会(H29.6.21)

